

1 運営方針

基本理念である「人を人として介護する」の実践を目指し、各施設が連携を取り、組織力を活かした法人・施設運営をおこなう。

介護保険法改正の大きな柱である「地域包括ケアシステムの構築」を視野に入れた法人運営のあり方、さらには社会福祉法人制度改革において求められているガバナンスの強化や地域・社会に対する公益性の取り組みなど、社会福祉法人名栗園として何ができるかを追求していく。

1. 法人運営

- 社会福祉法人制度改革への対応
- 人材育成を目的とした人事考課制度の改正
- 人材確保に対する取り組みの強化
 - ホームページの活用
 - 新規学卒者に対する就職支度金・家賃準備金
 - 資格取得支援制度
- わかりやすいホームページの作成
- あしかり園老朽化にともなう施設整備
 - 平成 28 年、29 年度事業として増改築工事を実施

ユニット型	40 名		ユニット型	80 名
従来型	40 名	⇒	従来型	32 名
短期	14 名		短期	8 名

2. 施設長会議の開催（毎月実施）

- 法人・施設運営の検討
- 実績報告（収支報告・リスク報告など）

3. 職員教育

- 法人合同研修会
 - ◇ 夏季研修・・・各施設代表者による事例発表会（8 事例）
 - ◇ 冬季研修・・・管理職・指導職を対象とした宿泊研修
 - ◇ 春期研修・・・次年度運営方針の説明、永年勤続表彰、辞令交付
 - ◇ 初任者研修
- 資格取得支援制度の充実（下記研修に対する全額助成）

介護職員初任者研修
介護福祉士受験資格実務者研修
介護支援専門員更新研修（専門研修課程Ⅰ・Ⅱ）
介護支援専門員更新研修（実務未経験者）
主任介護支援専門員研修
主任介護支援専門員更新研修
社会福祉士受験資格取得のための養成研修

- 各施設における計画に基づいた職員教育の徹底
- 「地域包括ケアシステムの構築」のための勉強会
 - 飯能地区における多職種による勉強会（CCN）
 - 名栗園、福）晃和会、医師、薬剤師、訪問看護事業所による定期的な勉強会の実施および連携

4. 施設間各種会議の実施…各施設が連携を取り、事業所運営およびサービスの向上を検討する
 - 事務連絡会議
 - 相談員連絡会議
 - 在宅連携会議
5. 社会福祉法人としての使命
 - 地域貢献活動…ふれあい事業などの地域との交流を図るとともに、各市がおこなう事業に積極的に参加
 - 社会貢献活動…「彩の国あんしんセーフティネット事業」への参加
 - 障害者雇用…関係機関との連携のもと障害者雇用の促進に努める
 - 被災地復興支援…被災施設への職員の派遣、食材の購入など

2 事業計画

- 5月 理事会・評議員会（平成27年度事業報告、決算報告）
社会福祉法人名栗園偲ぶ会
- 7月 社会福祉法人名栗園合同職員研修
- 9月 敬老の日祝典
広報「なぐりえん」の発行
- 11月 指導職研修会
- 12月 理事会・評議員会（上半期事業報告、収支報告、補正予算）
- 3月 理事会・評議員会（平成29年度事業計画案、補正予算、収支予算案の承認）
社会福祉法人名栗園新年度合同職員研修